

平成 23 年 2 月 25 日

報道関係者 各位

学校法人中央大学
地方独立行政法人北海道立総合研究機構

中央大学と北海道立総合研究機構が連携・協力協定を締結

学校法人中央大学(学長:永井和之)と地方独立行政法人北海道立総合研究機構(理事長:丹保憲仁)は、両機関の包括的な連携・協力関係を推進するために、連携・協力協定を締結します。

この協定の締結により、両機関の知的財産や人的資源を活かした連携・協力が促進され、学術および科学技術の振興や人材育成、地域の活性化に貢献することが期待できます。

2011年3月1日(火)正午より、中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区春日)において、中央大学学長 永井和之と北海道立総合研究機構理事長 丹保憲仁が出席し、協定の調印式を行います。

中央大学は、「**實地應用ノ素ヲ養フ**」という建学の精神のもと、「諸学問の理論と応用を修得し、個性豊かな人格の形成に努めるとともに文化の創造と社会・人類の発展に貢献する」人材を育成することを使命としてきました。創立 125 周年の節目を迎えた 2010 年には、国連の提唱する「**国連アカデミック・インパクト(United Nations Academic Impact/UNAI)**」への参加を表明し、学術機関として、国連と共に世界規模の問題に取り組むことを宣言しています。

北海道立総合研究機構は、2010 年 4 月に 22 の道立試験研究機関を統合、発足しました。道内産業の高度化や経済の活性化及び道民の暮らしの利便性や快適性の向上を図るとともに、食料問題や環境問題といった課題を見据え、未来に向けて夢のある北海道づくりに貢献していきます。2014 年度までの中期目標においては、外部機関等との連携を強化し、研究開発から事業化、実用化までを一貫してサポートし、地域へ研究成果を還元する方針を掲げています。

○本協定の締結により実施される主な取組みは次の通りです。

- (1) 中央大学は、「教育を通して、持続可能性を推進する」という国連アカデミック・インパクトのコミットメントに対して、「水・環境」人材の育成を重要な柱と位置づけています。

国際的な視野を持つ高度な水環境・水処理技術者を育成するために中央大学が大学院理工学研究科を中心に実施する「日中韓の大学間交流を通じた高度専門職業人育成事業(文部科学省)」『国際水環境理工学人材育成プログラム』に、北海道立総合研究機構は農業、水産、森林における環境分野で協力します。

(2) 中央大学の法律、政治学、経営管理、社会学等の人文社会系分野と連携し、たとえば市場分析や経済効果の検証など、当該分野の知見が北海道立総合研究機構の研究活動へ活用されることが期待され、北海道の地域の活性化に貢献していきます。

○調印式概要

日 時:2011年3月1日(火) 12:00~12:20

場 所:中央大学後楽園キャンパス(文京区春日 1-13-27) 3号館 10階 31008号室

調印者:中央大学学長 永井和之

北海道立総合研究機構理事長 丹保憲仁

式次第 1.「両機関の参列者紹介」

2.「協定までの経緯説明」

3.「協定書署名 理事長・学長」 協定書の交換、握手、写真撮影

4.「理事長、学長からあいさつ」

中央大学学長:永井和之

北海道立総合研究機構理事長:丹保憲仁

5. 質疑応答

《取材申し込み、お問い合わせは下記までお願いします》

学校法人中央大学 研究支援室 TEL:03-3817-1600/FAX:03-3817-1677

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

連携推進部 鈴木耕裕 TEL:011-747-2810

経営企画部 木下博史 TEL:011-747-2796

交通アクセス

後樂園キャンパス

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27



後楽園キャンパス3号館
調印式会場

東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩 5 分
都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩 7 分
JR 総武線『水道橋駅』から徒歩 15 分

※ 新棟建設工事のため、車両による入構はお断りしております。
公共交通機関をご利用ください。